

英語を英語で理解する

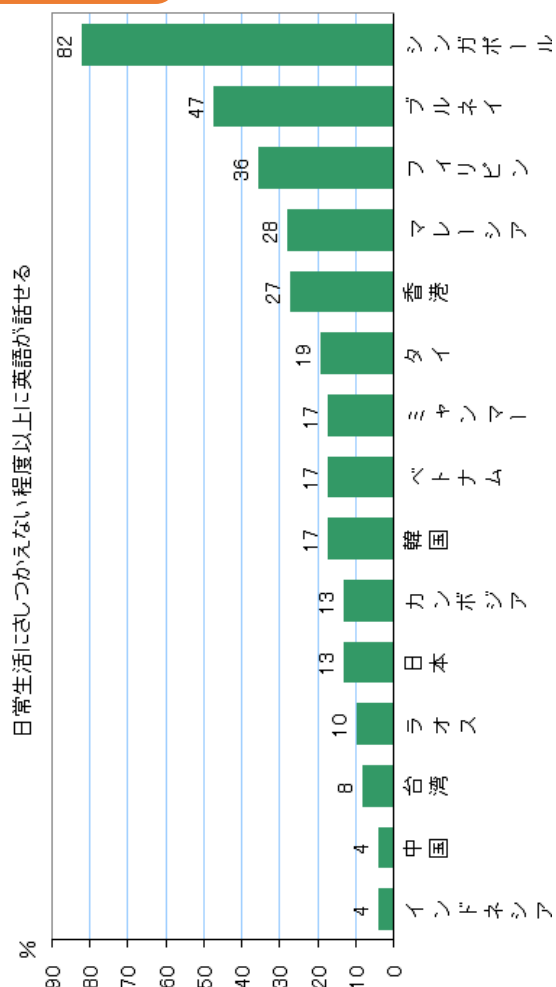
○調べたり自分で気づいた **現状**

- ・日本人の2割は英語を話せない
→①学問として英語
②TOEICや英検の存在
③英語を話せる人がいない
- ・英語の中に日本語がある
→・日本語で理解している
・日本語で教えている

○ゴール

- ・完全に英語を日本語を使わずに理解する
- ・どこの国に行っても差支えのない程度の英語力を身に着ける

アジア人の英語力



○調査やFWで得た情報や英語脳の方法

- ・自分が考えた理想の方法は「日本語の抹消」
- ・一番はできるだけ多くの時間英語に触れる
→英語圏の人達と比べるとやはり接している時間に大きく差が出ている
- ・教育の場に英語をちゃんと話せる人を増やす
(できればネイティブの人を)

明日館を理想の環境へ

17 パートナシップで
目標を達成しよう



きっかけ

・この環境を生かし切れていない

・寮は息苦しい、ストレスを感じやすい

・今の寮の制度は過ごしづらい

・寮生は、何かを率先して行動できる人になる

by 酒井先生

理想

個人的には…

寮を少しずつ変えていこう

・寮生自身が満足できる環境

・「寮生だからこそ」を活かす

・リーダーシップや協調性のある生徒

・“さすが寮生だ”と言われる
ようなアケビ生となる

本当にできる？

私の主な活動

1. 明日館を自分の能力を

引ずき伸ばすことが出来る場所へ

2. 個々人が自分の学習に意欲を持てる環境へ

現在の状況

寮という環境を
活かされずにいる

全体で見て少し頭が良い



生徒それぞれ不満や
悩みを持っている

寮に入ったけど、
かなり窮屈…

男女、先輩後輩間の関係の薄さ

↳ 特別な環境だということを忘れている？

アンケート調査

対象：寮生1～6回生 47名

特に前期生の女子

意図：個々人が思っている本音を知るため

↳あまり人に言えないことをアンケートを通して伝えてもら
う

質問内容：ex)明日館への満足度

現在、明日館に足りないものは？

寮の環境下で自分がしたいこと

入舎してよかった・悪かった点 など

フィールドワーク

→札幌の某有名高校に在籍する友人(3人)

目的: 明日館生の学力向上・学習習慣の定着のため

質問内容・・・モチベーションの維持の仕方
学力をどうやって維持してきたか

回答の活用→ ・どのような環境で皆が集中して勉強できる？
・継続させる力をどうにかして引き出す

これからの活動

5回生内 or リーダー会議

(討論で出された問題点なども)

アンケート結果から話し合い

舎監：麦倉先生に生徒内で
話し合った内容を提出

舎務部と生徒で話し合い

実際に明日館の制度(ルール)へ

適用

サイクル

5回生内 or リーダー会議

アンケート結果から話し合い

舎監：麦倉先生に生徒内で
話し合った内容を提出

舎務部と生徒で話し合い

計画

・勉強会を計画

↳ 前期生の学習時間を利用し、後期生が教える勉強会
(2年前に3回ほど開催)

※しかし、コロナの影響で開催できず

・プリントを配布

前期生は学習時間に
かなり暇がある

数学・英語(問題集)のプリントを用意して、配布
学習時間をより効率化する

学年末考査が終わり次第実施



リーダー会議で出された内容は舎監の先生に提出

・欠食をもっと自由にしたい

・学習時間にE-learningをやりたい

・門限がはやすぎる など...

まだ半分以上は回答
が得られず

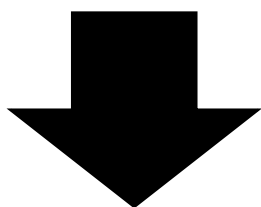
↳もう一度改めて要望・意見について伺ってみる

若年層に日本文化を浸透させるためには



現状

日本の若者たちは伝統的な日本文化について興味を示さなかったり、うやむやなまま外国人の方に紹介してしまっていることが多い。



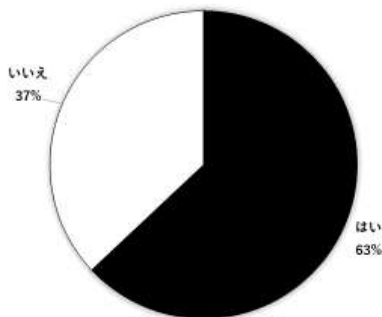
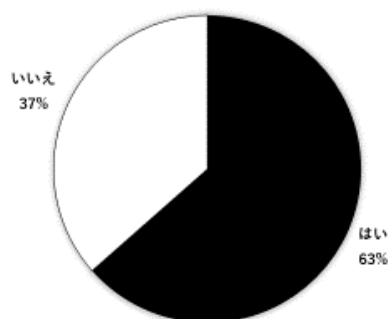
動機

外国人に日本を紹介したり、日本の歴史を学んでいくなかで伝統的な日本文化を外国の方々にも日本を知るという意味で伝える、日本を担っていく次世代にこれから先も語り継いでいくことが必要だと思ったから。

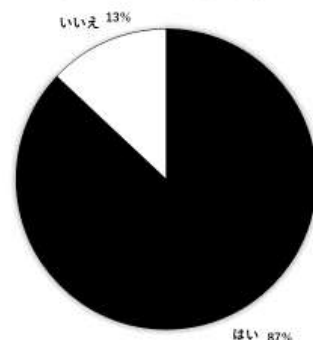
アンケート結果

日本文化に触れる機会があれば参加してみたいと思いますか？

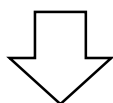
日本の伝統文化に興味はありますか？



体験したことによって興味がわきもっと知りたい！と思ったことがありますか？



(例) アニメ・漫画・和食・和楽器
和服・武道・書道・歌舞伎・祭
礼儀 など



日本文化に触れる機会を作り、体験することでさらに興味がわきどんどん若年層にも浸透していくのでは

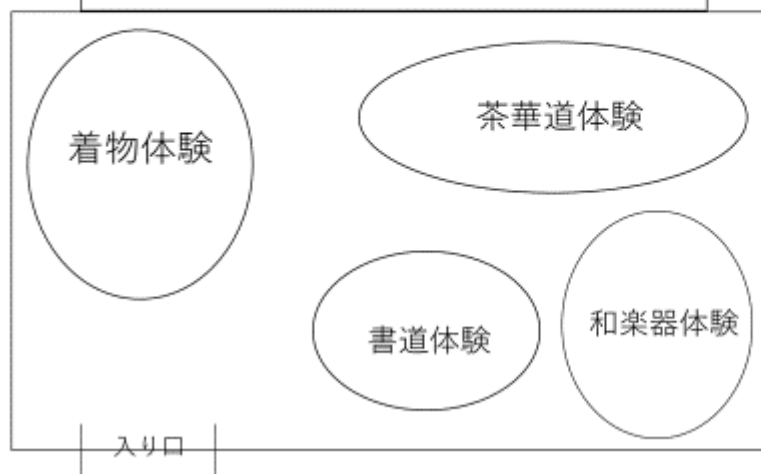
- ・事前準備がとても大切
- ・会場選びがキーとなる
(内容や目的、人数にあっているか。費用や交通の便など。)
- ・入り口付近に心をつかめるものがあると良い
- ・五感を使うものがあると尚良い

⇒これをもとにイベント案の作成

企画

→日本文化のイベントを開く

和楽器演奏・書道パフォーマンス



- ・最初に着物
- ⇒着ながら体験
- ・ステージ近くに茶華道
- ⇒飲みながら

⇒コロナの影響で実施できず。

成果

アンケートの結果、興味のないことでも実際体験することでもっと知りたいと思ってもらえることが分かったので日本の伝統的な文化を浸透させていくにはもっと気軽に体験できる機会を設けることが必要だとわかった。

卒業後に、このような活動を自主的に企画・実行できるよう、この案をもとに再度構築していこうと思う。